

児童生徒の
皆さんへ

夏休み中も補聴器や人工内耳を快適に装用するために

夏の補聴器や人工内耳の管理で、冬に比べて必要なのが汗対策です。最近の補聴器や人工内耳は、防水や防塵、防滴機能が備わり、故障することは少なくなりましたが、補聴器販売店の方にお聞きすると、「故障する率はゼロではない。」とのことでした。汗は塩分を含みますから、汗が本体に混入すると即修理です。また、匂いやかぶれの原因にもなります。補聴器ユーザーでもある、みみちゃん担当者が考える夏の管理方法のポイントは3つあります。簡単ですので、小学部以上の児童・生徒の皆さんは、是非、自分でやってみてください。

ポイント1 イヤモールドを清潔にする



… 水や石鹸で洗う、眼鏡洗浄用の洗浄機に入れる、専用の洗剤やケースに入れて洗うといった方法があります。洗った後は、ジョイント内部やイヤモールドの「穴」が垢や汚れ、水分で詰まっていないか、よく見てふき取り、こよりやエアブラシで水分をとってください。また、水で洗った後、洗浄機やケースの水を捨てる時に、イヤモールドを排水溝に落とさないように。

ポイント2 補聴器や人工内耳本体を清潔にする



… メガネふきのような柔らかい布でふきます。汗が気になる場合は、その後でティッシュで乾ぶきしたり、専用のクリーナー（ウエットティッシュ）でふくのもいいでしょう。このクリーナーは、抗菌や防臭のために、ナノ銀やアルコールを含んだものが補聴器用として市販されています。それらが含まれていないものでもさっぱりするでしょう。こまめにふくことが大切です。

ポイント3 外したら、乾燥ケースに入れて保管する



… 電池はケース内に入れないようにすること、電池ボックスは開けて入れることが大切です。中のシリカゲルを交換しておくことも忘れずにおきましょう。やや高価（10,000円前後）ですが、補聴器乾燥機を使うのもいいと思います。

この他に、汗カバーを付けるのも有効ですが、濡れたままにしないように、こまめに交換する必要があります。また、夏休み前に、チューブの交換をしておくとも気持ちよく装用できます。チューブが固くなっている人は、休み時間や授業の前後に、自立活動の担当の先生に交換をお願いしてみましょう。



交換したい人は、右の券を切り取って先生に渡しましょう。（でも、渡さなくても交換はしてくれます）

※ この記事の一部は、フォナック社の「補聴器ケアハンドブック」を参考にしました。

イヤモールド用 チューブ交換 サービス券

松山聾学校自立・連携課

みみちゃん担当者の場合、スマートフォンやタブレットのアプリは、ほとんど無料のものばかり使っているのですが、有料のものも少しだけあります。その、数少ない有料アプリを御紹介します。良いなと思ったら、長い夏休みの間に使ってみてください。

アプリの御紹介 (1)

手話ステーション

価格 840 円 (Android、Mac)

みみちゃん担当者が、初めて購入した有料アプリです。それほど新しいアプリではありません。谷千春さん監修で、収録語数は約 4000 語です。手話辞典が手元にないときに手話をさつ



と確認することができるので、よく使います。アニメーションが分かりやすく表情も変化します。他の手話辞典と併用すると良いと思います。無料版の「手話ステーション Lite」がありますので、まずはそちらを試してみて購入を検討してもいいかもしれません。



アプリの御紹介 (2)

三省堂こどもことば絵じてん

価格 1500 円 (Android のみ)

こちらも、それほど新しいアプリではありません。ろう学校関係者には必須アイテムであることば絵辞典は、角川書店のもの（現在は絶版）が長く使われてきましたが、20 年ぐらい前に三省堂からも出版されました。



その三省堂のことば絵辞典がアプリになっています。自立活動の授業でことばの学習をするときなど、子供自身が使いやすいので、重宝しています。検索機能や音声の再生機能もあります。みみちゃん担当者は、10 インチのタブレットに入れて使っています。



2018 年度 第 15 回さがの映像祭 作品募集について

「第 15 回さがの映像祭」が 2019 年 2 月 16 日に開催されるにあたり映像作品の募集案内が来ました。生徒の皆さん、ユーチューブへの投稿もいいですが、長い夏休みはこちらに挑戦してみてもいいですか。

- 応募締切：2018 年 11 月 13 日 (火)
- 聴覚障害者が視覚的に理解できる作品（手話や字幕を入れる）
- 手話を知らない人が鑑賞できる作品（手話には字幕をつける）
- 作品の形式は DVD ブルーレイ・データ (mp4) など種類は問いません
- 2 年以内に制作したもので 20 分以内 (5 分、10 分でも可)

詳細は、ホームページで御確認ください。



第1回幼児体験学習

6月21日(木)に今年度1回目の幼児体験学習を行いました。0歳～6歳の幼児7名、保護者の方や関係機関の指導員等15名の方が来校し、幼稚部の授業参観や合同保育、教育相談に参加していただきました。合同保育では、自己紹介をした後、夜店屋さんごっこ、ダンスを行いました。夜店屋さんごっこでは、お面屋さん、金魚すくい、ヨーヨーつり、くじ引き、的当て、射的、お化け屋敷、ポップコーン屋さん、かき氷屋さんの出店があり、子どもたちは保護者と一緒にお店やカードを見ながら行きたいお店を相談して決め、それぞれのお店で楽しく活動することができました。次回は、10月25日(木)に実施します。参加を希望される方は、是非、お問い合わせください。

第1回学校公開

6月23日(土)に今年度第1回目の学校公開を行いました。この日は、地域の保育所、小・中学校や高等学校、大学等から34名の方々にお越しいただき、授業の様子を参観していただきました。参加していただいた方の感想をいくつか御紹介いたします。

- どの授業も笑顔で授業をしておられて温かい雰囲気に包まれていました。参観させていただきありがとうございました。
- 毎回、授業を参観させてもらって自分の授業改善の材料にさせてもらっています。今回は、高等部の学習内容も見せてもらい、指導の方向性がみえてきた気がします。参考になることがたくさんで、大変ありがたいです。また相談させてください。
- 人工内耳等の難聴体験をしてみて、とても聞き取りにくいことがわかりました。障がいを抱えている人だけではなく自分たちもともに考えていかななくてはならないことだと思いました。
- 理容実習室で実際に髪を切っているのに驚きました。
- 児童生徒が様々な方法でコミュニケーションを取り合い学習する様子を見てとても尊敬しました。障がいを持っていようと持っていなかつと、コミュニケーションが上手に取れるように工夫していくことが重要だと感じました。
- 聾であることが生きていく上での様々な可能性を限定してしまっているように感じるのは大人の固定観念からなのではないかと思いました。



授業交流(小学部)

6月26日に小学部桜組で授業交流を実施しました。おやつ作りをしたり、給食を一緒に食べたりしながら、ろう学校と地域の学校に通う子供同士のコミュニケーション活動がたくさんできました。次回も楽しみです。

この夏は映画を見に行こう！

～ 県内の日本語字幕付き上映情報 ～

- ☆ **虹色デイズ (公開中)**
日本語字幕付き上映: 7月16日(祝)～17日(火)
- ☆ **BLEACH (7月20日より公開予定)**
日本語字幕付き上映: 7月29日(日)～30日(月)
- ☆ **劇場版ポケットモンスター みんなの物語 (公開中)**
日本語字幕付き上映: 8月5日(日)～8日(水)
- ☆ **未来のミライ (7月20日より公開予定)**
日本語字幕付き上映: 8月19日(日)～22日(水)

愛媛県の上映館は、いずれも衣山シネマサンシャインです。上映時間は、直接お尋ねください。[TEL:089-911-0066、FAX:089-911-0080 ※ ホームページでは、上映3日～1週間前から確認可能のようです。] 字幕付き上映は、直前になって変更になったり決まったりする場合もあるようです。ホームページで検索画面を開き、検索窓に「見たい映画名 日本語字幕」等の言葉を入力し、こまめにチェックしてみてください。

新聞の記事より

聴覚障害者

入場を拒否

レゴランド東京謝罪

テーマパーク「レゴランド・デイスカパリー・セントー東京」(東京都港区)が4月、健常者の付き添いが無いことを理由に聴覚障害者の入場を拒否していたことが22日、運営会社への取材で分かった。

障害者差別解消法は、介助者がいないと入店を断ることなどを差別にあたるとしており、運営会社は「誤った認識を抱いていた」と関係者に謝罪。従業員教育

やバリアフリー化を進めるとしている。

運営会社や経済産業省によると、4月21日にレゴランド東京を訪れた聴覚障害者4人が、健常者の付き添いがなく安全確保に不安があるとして、入場を拒否された。4人は全日本ろうあ連盟に相談し、連盟は国に対応を求めた。経産省は6月、障害者差別解消法に反するとして同社を口頭で注意した。

経産省の担当者は「障害者差別解消法が2016年に施行されてから、2年が経過した。事業者の協力を得て誤った対応をなくしていきたい」と話している。

平成30年6月23日付 愛媛新聞社提供
※ 共同通信社配信記事につき、同社へ記事利用申請済
許諾番号 1811117 D20180706004

編集後記に代えて

ろう教育の『明日』の78号(2018年6月)に、神戸大学の河崎佳子先生の講演記録が掲載されていました。河崎先生は聴覚障がい者のカウンセリングを通して、心理的なケアに関する研究を長年にわたって行っている先生です。ろう教育の『明日』78号は本館1階の職員室前の新聞書見台にあります。興味のある方は、是非探して読んでみてください。

